

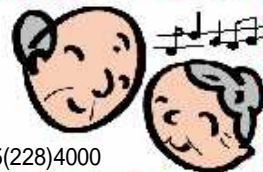
月刊



はあむふるあたご

第34号(2008年6月)

【発行】平成20年6月1日



【発行元】株式会社はあとふるあたご

【発行者】木村 淳

〒951-8051 新潟市中央区新島町通三ノ町 2284 番地

電話 025(228)5000(代) FAX025(228)4000



「リニューアルされた大型水槽」
デイサービスセンター柳都大橋 (関連記事は2ページ)

目次

水槽リニューアル・・・・・・・・・・	2	ハーブ園を造ります！第6回・・・	8
事業所だより・・・・・・・・・・	3	伊東先生のコラム 第33回・・・	11
小林教授のコラム 最終回・・・・	5	編集後記・・・・・・・・・・	12

水槽のリニューアル

～ デイサービスセンター柳都大橋～

このたび、国際ペットワールド専門学校、海洋生物・ネイチャーアクアリウム学科の学生によって、センターに設置していた水草水槽をリニューアルしました。幅60cmの小型のものから、幅90cmの大型水槽への変更です。この水槽は、水草を使って自然の生態系を再現するネイチャーアクアリウムと呼ばれるものです。もちろん、生きている本物の水草を使っていますので、毎日少しずつ成長しています。



植物は、光と水と二酸化炭素から、酸素と栄養を作り出す、「光合成」を行なっています。午後になると、水草から、無数の美しい気泡が立ち昇っている姿を見ることができると思っています。これは、水草が作っている“酸素”なのです。植物も立派に生きているのです。水槽の中には、二酸化炭素を水に溶かし込む装置があり、水草の光合成を助けています。その他にも、水草は、魚の排泄物や食べ残しから出る有毒物質を肥料として取り込み、水をきれいにしています。



水槽を担当している学生は、観賞魚店やアクアリウムクリエイター(水景制作業)を目指し、専門学校で日々勉強に励んでいます。お客様へ、心癒されるインテリアを提供することを目指していますので、週一回の水槽管理に伺った際には、ぜひ感想などをお聞かせいただければと思います。

ご協力

WaN 国際ペットワールド専門学校

住所：新潟市中央区笹口2丁目13-4

国際ペットワールド専門学校
海洋生物・ネイチャーアクアリウム学科
教務 若林 耕治

デイサービスセンター柳都大橋

参りました！！

未来のアイドル達が総出演！

春の妖精がホール内を縦横無尽に飛び回り、笑顔の種をふりまいてくれました。われら DS 柳都大橋のこころのオアシス、礎保育園さんです。去年のクリスマスに遊びに来てくれたメンバーがひと回りも、そしてふた回りも成長して再び舞い降りてくれました。

嵐の『ハピネス』！ 本物を上回るキレとココ！

小さな口を大きく開けて、小さな体を大きく揺らして、歌い踊り元気の素を分けてくれました。

あまりの愛らしさに、お客様の瞳にもうっすらと光るものが。。

こころなしか、職員のかわいたお肌にもうるおいが。。

最後に、園児さんが栽培したチューリップとお客様が作って下さった折り紙のチューリップの交換で幕を閉じました。



デイサービスセンター柳都大橋

渡辺 伸子

電話 025 - 228 - 5010 FAX 025 - 228 - 3335

居宅介護支援課

今回は、デイサービスの外出レクリエーションについてお話したいと思います。

現在私が担当している利用者様のほとんどの方がデイサービスをご利用されています。

デイサービスからのお便りなどを見ていると、「外出レクリエーション」という案内をよく目にします。

デイサービスを通して昔よく行った場所や、行ったことがない場所に行ける・・・など、ご利用者様にとっては、様々な意味での外出機会となっているようです。

「はあとふるあたごデイサービス」でもいろいろな外出レクリエーションを行っております。今回は、ピックスワン外出レクリエーションを予定しているそうです。

「ピックスワンは外からしか見たことがない」というご利用者様には是非一度中に入って見ていただけたらと思い、訪問時にご利用者様やご家族様にご参加をお勧めしています。

デイサービスでの外出レクを通して社会参加の機会が増え、ご利用者様の活動範囲が拡大していけると良いと思います。



居宅介護支援センター 河渡本町

南 洋子

電話 025 - 250 - 3002 FAX 025 - 250 - 3011

デイサービスセンター河渡本町

4月25日(金) デイサービスセンター河渡本町に、かわいい3人のお子さん達が遊びに来てくれました・・・というのも、腹話術のお人形さんのことです。

この日は、「あしたば」というボランティアの方々をお呼びして、腹話術を披露していただいたのです。

まずは、黒い洋服を着たあい子ちゃんの登場。

次に出てきた花子ちゃんは、掛け合いのボランティアさんから問題を出されて悩んでいました。それを見ていたお客様からは、思わず「頑張って!!」と応援の声がかかりました。

男の子の通ちゃんとは、「チューリップ」や「かたつむり」の童謡と一緒に歌いました。

最後に、3人のお人形さんと触れ合う時間を設けていただきました。かわいいお人形さんが近くに来ると、お客様はニコニコと握手をしたり、抱き抱えたりしていらっしやいました。

小さなお子さん達と、本当にお話をしたり、歌ったり出来たような、楽しく心とむひとときでした。



デイサービスセンター河渡本町

三添 真由子

電話 025-250-3001 FAX 025-250-3010

デイサービスセンター城北町



先日、とてもお天気のいい日曜日の昼下がり、城北町のデイサービスに素敵なボランティアの方々に来ていただきました。

「モキ・ハナフラダンス」の皆様はカラフルな衣装に身を包み華麗なフラダンスを披露してくださったかと思うと今度は素敵な歌声を聴かせてくださり、そして、マジックショーでは見ているだけでなくお客様も参加でき、目の前で起きていることに「なんで? どうなっているの?」と目を丸くして楽しそうに見ておられました。

素敵な出会いと楽しいひとときに感謝!!

モキ・ハナフラダンスの皆様ありがとうございました!!



デイサービスセンター城北町

長谷川 由里

電話 0254-21-3330 FAX 0254-21-3335

～小林教授のコラム最終回～ 「畑仕事」

新潟医療福祉大学 小林量作



私宅の隣家のおばあちゃんは 88 歳を超えました。しかし、毎日、すぐ近くの畑に出てうねを耕したり、苗を植えたり、草とりをしています。腰が痛い、足が痛いと言いますがいいながらも、雨などで 1 日外に出られないと本当につまらないといいます。おばあちゃんの頭の中には、このうねには何を植えて、次に何を植えて、去年はトマトを植えた場所だから今年は連作を避けて人参を植えようなどと、予定が一杯です。農作物に影響するので天気予報にも詳しく、今日は午後から天気がくずれる、明日はいい天気だ、と教えてくれます。草とりも忙しく、草はとられてもとられてもめげないで人間よりもよっぽど元気だ、と擬人化します。畑仕事は体だけでなく、頭も使い、楽しみもあり、そして自分で栽培した野菜を安心して食べられます。今、流行の小さな「地産地食（消）」です。農作業が腰に負担がかけることは心配ですが、それを差し引いても運動と精神と趣味と実益を兼ね備えた最高の閉じこもり予防です。その一方、昨年までは畑仕事に出ていたおばあちゃんが、今年は春になっても出てきません。昨年会った時に、その言動からちょっとつじつまが合わないこともあり 心配していたのですが、そのことが影響しているのかも知れません。今は、週に数回デイサービスに通っているそうです。

一般に高齢者の閉じこもりは週に 1 回以下しか外出しない場合をいいます。数年前に私たちが調査した K 村のデータでは、高齢者の約 3 割が閉じこもっていました。この値は、75 歳で約 3 割、80 歳代で約 5 割、90 歳代で約 7 割でした。閉じこもりは単純に家から出る回数だけで決められるのではなく、他人と交流する機会や外出して何をするかということも重要です。閉じこもりは生活不活発に連なり、いずれは自室に閉じこもり、寝たきりあるいは認知症に連なる可能性があります。畑仕事は閉じこもり予防、生活不活発予防、認知症予防のための仕事で趣味でレクリエーションです。

グループホーム三条

今年の作物は・・・

今年もお客様のご指導の下、畑での農作業を始めました。植えたのはじゃが芋、茄子、きゅうり、里芋、プチトマトなどなど。

畝作りや肥料を経験豊富な皆様に伺いながら、職員とお客様とが一体となって作り上げた自慢の畑です。



今から収穫が待ち遠しいですが、「芽が出たね」「花が咲いたね」といった途中経過も含めて、皆様と楽しんで行きたいと思います。とりあえず、久しぶりに農作業をされたお客様、使い慣れない筋肉を使ったスタッフの皆さん、お疲れ様でした。

グループホーム三条

難波 淳

電話 0256-36-5555 FAX 0256-36-5556

デイサービスセンター坂井東

押し花 CLUB

坂井東では月2回程、押し花のスペシャリストである厨房担当職員の斉藤さんによる「押し花レク」を始めました。

初回は、ピンクや黄色、青色などの画用紙を横4cm、縦12cmくらいの長方形に切り、その上に色とりどりの押し花をお客様のセンスで置いていただき、ラミネートで挟んで素敵なしおりの出来上がり！

お客様と一緒に職員も熱中しちゃうほど大好評！！しおりの他に、木のプレートに押し花を置いて「壁掛け」も作りました。今度は、「小物入れ」作りに挑戦！



今、坂井東の庭には、パンジーやチューリップ、芝桜、他にも様々な花が咲いています。お花を見ると心が癒されます。やっぱり花はいいですね！

デイサービスセンター坂井東

長 真貴子

電話 025 - 268 - 8880 FAX 025 - 268 - 8887

グループホーム新津



4月9日に近くのこがね町公園まで花見に行ってきました。予定では10日だったのですが、天気と相談して急ぎょ、9日に決定し1F・2Fのお客様そろって行ってきました。風が少しありましたが、桜の花は満開で、お天気も良く最高の花が見ることができお客様もとても喜んで下さいました。

今年の花見は午後から出かけ、おやつを桜の下で食べました。私達の他にも子供さん連れのお母さん達がたくさん集まっていました。皆さんおやつをそっちのけで子供さんに夢中で笑顔と笑いが絶えず、楽しい時間を過ごす事ができたようです。

来年の花見もお客様に満足していただけるように行事に取り組んでいきたいと思ひます。



グループホーム新津

鈴木 和美

電話 0250 - 21 - 2888 FAX 0250 - 21 - 2889

デイサービスセンター松浜

春爛漫・・・様々な花が咲誇る心地良い季節の中、デイサービスセンター松浜では、皆様と共にお花見に行きまして。今年はずっと暖かい日が続いて、例年よりも早い開花となりましたが、



近隣の三軒屋公園では満開の桜が、福島潟では色鮮やかな菜の花が、私達の目を楽しませてくれました。



職員一同、毎年感じる事ですが、お花見をされている時の皆様の笑顔は、世界中のどんな花よりも美しいと思います。

私達は、これからも皆様に“満開の笑顔”をプレゼントさせていただきます。

デイサービスセンター松浜

石崎 徳幸

電話 025 - 255 - 7701 FAX 025 - 255 - 7705

デイサービスセンターさかえ

去る5月4日、デイサービスセンターさかえにおいて、三条栄地区にて活動されている『栄ダンスクラブ』様が社交ダンスを披露して下さいました。

なかには“社交ダンスなんて見たことがない”とおっしゃられるお客様もいらっしゃり、どなたも“早く見たいね～”などと、とても楽しみにされていました。

素敵な衣装をまとったお二人が登場されダンスが始まると、当センターのホールはあっという間にダンスホールに早変わり！！初めてご覧になれるお客様も多く、また職員も、華麗なステップで踊られるお二人に圧倒され、見入ってしまいました。

ワルツやタンゴといったスタンダードなナンバーから、チャチャチャやルンバ、サンバなどのテンポの良いラテン系ナンバーまで、全8曲の楽曲に合わせて踊って下さいました。



皆様、興奮が冷めやらぬ様子で、“とても素晴らしかった” “是非、また踊りに来て欲しい”と口々に話していました。

『栄ダンスクラブ』様、この度は素敵なダンスを見せてくださり誠にありがとうございました。また是非、素敵なダンスを見せていただけたらと思います。

デイサービスセンターさかえ

富樫 亜希子

電話 0256 - 45 - 7735 FAX 0256 - 45 - 7739

「ハーブ園を造ります！」-第6回-

ハーブ園はいよいよ夏準備

気温が20 を超える日が続くと植物は急に緑の色を濃くします。

生まれたての「はあとふるあたご」のハーブ園のハーブたちもぐんぐん成長して、そのたくましさに驚かされます。ブルーベリーの木には、たくさんの小さな実が付いています。

すべての実が大きくなるとは思えませんが、それにしてもかなりの収穫が期待できるのではないかと、これからが楽しみです。

利用者の皆様がこれまでやってこられた「夏野菜」栽培コーナーにはどのような野菜が植えられているのでしょうか。野菜の生育を助けるコンパニオンプランツのハーブの植え込みをお勧めしているところです。

冬の間、室内で育ててきた「レモングラス」が戸外に登場するとハーブ園も本格的なシーズン到来です。この夏はレモングラスのお茶をお楽しみ下さい。暑さが大好きなレモングラスは暑さとともにぐんぐん成長します。からだには消化のはたらき、血行の促進などにより働きかけをしてくれ、その上おいしいので、大変人気のあるハーブです。

花花工房 小野 庸子



デイサービスセンター横越

昨年の12月より、当センターの庭が整備されていましたが、この春完成し花やハーブが植えられました。

4月下旬、ようやく暖かくなったある晴れた日の午後、お客様と庭に出て花やハーブをながめたり、お茶を飲んでのんびりとした時間を過ごしました。



ハーブの種類で『カモミール』という白い花があるのですが、それを摘んでカモミールのお茶をお出ししたのですが、「おいしいね。」と、好評でした。

また、畑を作るスペースもありますので、昨年同様、お客様と畑作りも楽しみたいと思っています。

デイサービスセンター横越

大久保 友恵

電話 025 - 383 - 2235 FAX 025 - 383 - 2236

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原

私共のセンターでは、先日お客様の渡邊ナオ様より「私の誕生日だから、皆さんにいつものお礼に大正琴を演奏したい」とお申し出があり、ぜひお願いしますということで、大正琴を演奏していただきました。



「大した演奏ができなくて…」と渡邊様はお話しされておられましたが、「星影のワルツ」「古城」「旅愁」など演奏して

くださり、大正琴の音色に皆様聴き入っておられました。他のお客様も「昔、大正琴が流行って習ったことがあったわ。懐かしいわね。いい音がするのよ」等とお話されておられました。

お誕生日であればこちらがお祝いしなければならぬところを、逆に演奏していただき、申し訳ない反面、他のお客様や職員は楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。

デイサービスセンター水原・ショートステイ水原

帆苅 恵里

電話0250-62-8888(ショート) 0250-62-8886(デイ)

FAX0250-62-8887(デイ・ショート共通)

訪問介護ステーション

訪問介護では、在宅のお客様に対してサービスを提供しております。

サービス内容としては、「身体介護」「生活援助」の二つにおおまかに分けることができます。

「身体介護」…モーニングケア（洗面、口腔ケア、更衣介助） 排泄介助・移動介助・食事介助・入浴介助・買い物同行・通院介助、ナイトケア（口腔ケア、更衣介助）

「生活援助」…調理・掃除・洗濯・買い物同行

ひとつずつのケアのエビデンス（根拠）を自分なりに言語化し、お客様に起こっていることを客観的に観察し、お客様との距離感を適切に保つプロであることが必要になってきます。

ホームヘルパーという仕事は自分自身の考え方や癖が顕著に出てしまう仕事でもあるので、常に自己覚知（自分の価値観や反応のパターンを知る）を行う努力をしなければなりません。

介護の基本は自立支援ですが、その自立支援とは「お客様の多様な生活環境を詳細な情報収集に基づいてアセスメント（課題収集）し、そのアセスメント結果に基づいて、お客様のニーズとすり合わせながら、環境に対してのアプローチをしていくことです。」

「介護はヘルパーの思いではなく、お客様主体で行う」

「お客様が生活している場に、専門的な技術を持って関わり、側面的に支援していく」

はあとふるあたごの訪問介護ステーションはお客様や、地域の信頼を得られる事業所として、またヘルパーが自信を持って働ける事業所として、成長していくよう職員一丸となってサービスを提供していきたいと考えております。

訪問介護ステーション

齋藤 聡子

電話 025-228-5004 FAX 025-228-4000

グループホーム五泉



5月3日連休の最中、五泉市赤海の牡丹園に行ってきました。連休中という事もあり、多くの家族連れや地域の人々で賑わい牡丹を愛でられている姿が見られました。

公園内では、赤、白、紫、桃色の様々な牡丹が所狭しと咲き乱れていました。

お客様方も牡丹鑑賞を楽しまれていらっしゃいました。

公園内では一部露店が出ており、露店商の主人とお客様の中の一名が顔見知りだった様子で、ちょっとした再開話しをされている姿が見られました。

今後もお客様が地域の中での生活を継続できるように支援していきたいと思えます。

グループホーム五泉

岡田 健

電話 0250-41-1610 FAX 0250-41-1611

福祉用具課

今回は、入浴関連特定福祉用具の「浴槽用手すり」と「バスボード」をご紹介します。



浴槽用手すり



バスボード

<浴槽用手すり> 左写真・・・主に立ったまま浴槽をまたぐことの出来る方で、その際の転倒防止と、浴槽内での姿勢保持に効果的な福祉用具です。また、浴槽の縁に挟み込むだけでしっかりと固定できるので、取り付け工事等の手間もかかりません。

<バスボード> 右写真・・・浴槽の両縁にボードを渡してふたのようにかぶせて使用するもので、主に立ったまま浴槽をまたぐことが難しい方が、ボードに腰掛けて座ったまま体の向きを変えて、安全に浴槽に入ることが出来ます。また、シャワーチェア等と兼用することで、浴槽への移動をより容易にすることが出来ます。

入浴は、日常生活のなかで最も多くの動作を伴います。浴室の出入り・洗体時の立ち座り・座位保持・浴槽の出入り等を、安心・安全に行っていただく手助けとして、このような福祉用具を組み合わせてお使いいただくことをお奨めいたします。

福祉用具課 吉村 正

福祉用具レンタル・販売/住宅改修のお問い合わせは・・・

福祉用具センター柳都大橋 025-228-5002

福祉用具センター新 発 田 0254-23-1173

～伊東先生のコラム第33回～

「在宅死」

丸山診療所所長 伊東浩志 先生



ここの所、病院への搬送をお願いしても受け入れに難色を示す医療機関が多くなっている。本日は外科が当直なので・・・当直医が手が離せないで・・・ベッドが満床なので・・・結局、10病院に連絡しても全て断られるケースも出ている。

やむなく診療所に対応する。今回も20代の女性が服薬自殺を図り意識不明なのに病院が受け入れを断った。結局、当院で3日間点滴加療、呼吸動態管理をして改善した。

60歳代女性、食事が摂れず、高度の脱水症。この方は、悪性の疾患がベースにあったためもあり、全ての医療機関が拒否。私が在宅で看取った。

冷たい・悲しい医療情勢になっている感じがする。

助かる人も助からない。アメリカ的な医療制度に変わろうとしている感じがする。

お金のある人だけが生きながらえる。保険に加入できている人だけが介護を受けられる。

医療の現場では、格差社会を目の当たりにできる。

もうじき、医療の崩壊が起きるのではないだろうか。

今から、自分の身は自分で守る。病気にならないように健康管理を行う。

など。。。。自分のことは自分でしなければならぬように思える。

北欧の医療福祉先進国の情勢を見ていると、あまりにもお粗末な日本の医療福祉の体制に悲しさを覚える。

一人の医師が頑張っても、ひとつの病院が頑張っても駄目なんじゃないか・・・

ひとつの福祉施設が頑張っても駄目なんじゃないか・・・

そうは思うが、やらないわけに行かない。はあとふるあたごの皆さんの頑張りも見ていて伝わってくる。最後にものを言うのは、もう死語となったかもしれないが「ヒューマニズム」しかないかも。。。。

～編集委員のメンバーが変わりました～

今年度の編集委員会のメンバーが決まり、先月号より訪問介護ステーション柳都大橋の荒木、デイサービスセンターさかえの富樫、グループホーム五泉の岡田の3名が新たに委員として参加しております。

また、グループホーム三条の難波からバトンタッチし、総務部の古野間が今年度の編集委員長をさせて頂く事になりました。

各事業所の日々の出来事や当社の最新情報、専門家のコラムなど、より読みやすく楽しんで頂けるよう、誌面作りに取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、どうぞよろしくお願い致します。



(左から、富樫・南・荒木・古野間・中山・岡田)

月刊はあとふるあたご

編集委員長 古野間 信介

必要としてくれる人がいるから... 自然と笑顔で働ける場所

はあとふるあたごでは、

一緒に働く仲間を募集しています。

募集中のお仕事

介護職員・生活相談員・看護師

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

音楽療法士・リフレクソロジスト・あんまマッサージ師

経験者大歓迎です。

育児休業・介護休業取得実績多数あり！

未経験者には各種研修やOJTなど、

安心して働ける職場環境です。

応募先 希望職種を明記の上、ご応募ください

〒951-8051

新潟市中央区新島町通三ノ町2284番地

(株)はあとふるあたご 採用係

在宅介護の総合サービス



<http://www.heartfull.jp/> TEL 025-228-5000

- 編集後記 -

当社では5月より、サッカーのアルビレックス新潟と協力して、お客様をアルビレックス新潟のホームゲームへご招待する「はあとふるあたごスカイボックス」を行っています。

サッカー観戦するのが始めてという方も少なくないようですが、スタジアムの熱気を肌で感じて頂けたようで、大変好評だそうです。

はあとふるあたごスカイボックスの様子は、7月号で詳しくお伝えします。お楽しみに！！

今回で小林教授のコラムが最終回になります。ご多忙の所、1年間にわたってご協力頂きました小林教授に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

～ご意見・ご感想をお寄せ下さい。～

<連絡先> はあとふるあたご 総務部
新潟市中央区新島町通三ノ町 2284 番地
電話 025(228)5000 FAX 025(228)4000
E-mail:post@heartfull.jp

<編集委員>

南 洋子	(居宅介護支援センター河渡本町)
中山 卓	(福祉用具センター柳都大橋)
荒木 幸子	(訪問介護ステーション柳都大橋)
富樫 亜希子	(デイサービスセンターさかえ)
岡田 健	(グループホーム五泉)
古野間 信介	(総務部)